



# なかね大

一人のために、未来のために！  
子どもの命と笑顔を守ります！

## 令和4年第2回定例会

令和4年6月8日～6月17日まで開かれた令和4年第2回港区議会定例会での公明党議員団の代表質問についてご紹介します。



### 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について

**Q** コロナ禍における原油価格高騰・物価高から生活者や事業者を守るため、その対策は、迅速かつ機動的に実施することが肝心であり、その財源として「地方創生臨時交付金」を積極的に活用すべき。

**A** 区は、今回の補正予算に計上した学校給食における食材価格の高騰対策、エンジョイ・セレクト事業の期間の延長、中小企業者への経営相談体制の強化などの区民生活や中小企業者への支援に加え、ウクライナ避難民への支援など、区独自の取組の財源として、この交付金を幅広く活用してまいります。



### 高校生医療費助成の導入に向けた区の取組について

**Q** 経済的な理由によることなく、平等な受診機会の確保と心身の健やかな成長を守る観点からも、高校生医療費助成については、23区が足並みを揃えて速やかに実施してほしいと考えるが、区としての見解は。

**A** 高校生等医療費助成制度の導入については、所得制限の有無や財源について、東京都と特別区の考え方に開きがあることから、今後の進め方も含め、特別区長会を通じ東京都と協議を進めてまいります。

### ウクライナ避難民への支援について

**Q** 地域との関わりや住民とのコミュニケーションの機会を保つため、受入れる側の町会・自治会や団体等に対して、地域との交流を後押しする支援や情報提供を行うなど地域・団体への支援体制も必要と考えますが、区の見解は。

**A** ウクライナ避難民一人ひとりの状況に応じて個別に町会・自治会の地域コミュニティ活動とコーディネートすることで地域での暮らしを支えてまいります。

**Q** 日本語の学びの支援についてどのようにお考えか。

**A** ウクライナ避難民に対する日本語の学びを支援するとともに、語学に留まらない総合的な支援に取り組んでまいります。

**Q** 子どもたちの教育機会の確保が不可欠と考えますが教育委員会の見解を伺います。

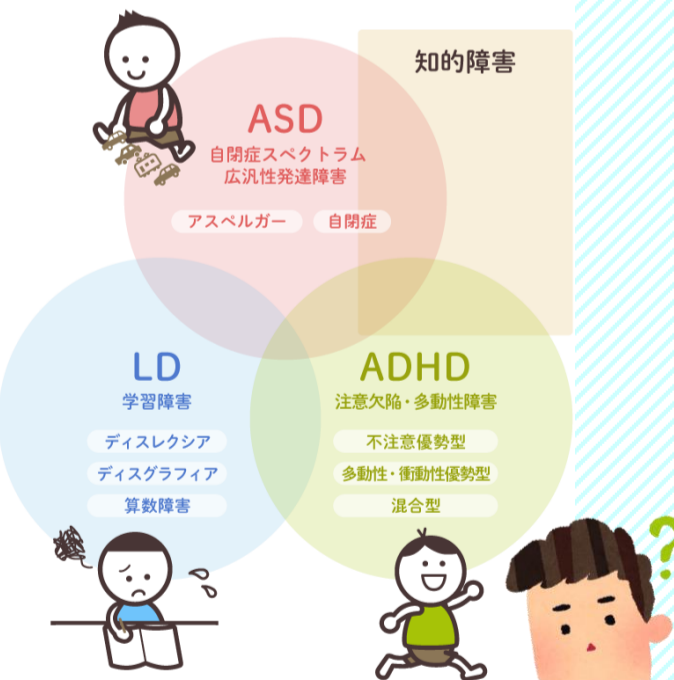
**A** 避難してきた子どもたちが、少しでも早く日本での生活になじむことができるよう、個別に日本語適応指導員を配置し、安心して学校生活を送れる態勢を整えております。



### ペアレントメンター活用について

**Q** 区としてその必要性和今後の取組についてどのようにお考えか区長の見解をお伺いします。

**A** 発達障害のある子どもを地域で安心して育てていくために貴重な存在です。区は、東京都のペアレントメンター派遣事業の積極的な活用を進めるとともに、発達障害のある子どもの親から意見を聞き、区としてのペアレントメンターの効果的な活用策を検討してまいります。

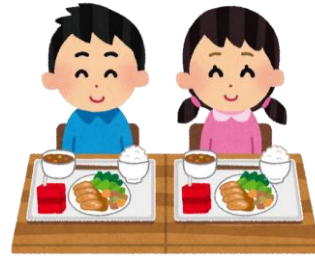


### ペアレントメンターとは？

発達障害のある子を産み育てた経験を持つ親が先輩として、信頼のおける相談相手となって、経験の浅い保護者の悩みなどに寄り添い、心のサポーターとして心理的な支援をする人のことです。また、2018年からは都道府県だけでなく、区市町村でもペアレントメンター養成事業の実施が可能となったことから、現在東京都では足立区、新宿区、中野区、練馬区、三鷹市の5市区が独自にペアレントメンターを養成し活用をしています。

## 「学校給食費等の負担軽減」が補正予算に反映！

5月25日、物価高騰対策として「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の活用を区長に緊急要望を行う。また、第2回定例会代表質問で取り上げ、同定例会補正予算で実現。



## 「高校生医療費の無償化」が来年度から所得制限なしで実現！

令和元年(平成30年度決・特)、令和3年(令和2年度決・特)、令和4年(第1回定例会、第2回定例会・代表質問)で取り上げ、令和5年度から所得制限なしで実現！

**都の医療費助成**

2023年度から  
高校3年生まで  
(18歳の3月末)

現行  
中学3年生まで  
(15歳の3月末)

## 港区「防災ラジオ」の配布対象を拡大実現！

令和2年度決算総括質問で要望し、令和4年6月から区内の高齢者・障がい者・児童福祉施設、学校、大使館、町会・自治会・マンション管理組合に対しても配布を拡大。



## 福祉総合窓口実現！

ダブルケアや8050問題など複合的で困難な課題への支援(平成27年度決など)や、「断らない相談窓口」(平成30年度決など)を要望し、本年8月から開設。



### 福祉総合窓口のマークはこちらです

- 丸みを帯びた三角形は、区・福祉関係機関および地域で活動する団体の三者が連携している様子を表しています。
- 人と4つのハートは、相談員が相談者世帯を支えている様子を表しています。
- 色は、港区のマークで用いている江戸紫色で表しています。

## 地域の声を実現しました！



### 白金児童遊園(猿町公園)の遊具補修



白金児童遊園(通称 猿町公園)の遊具が破損して危ないので修理をお願いしたいとの声をいただきました。現場に駆け付け確認したところ、クッション材の一部が大きく割れていて、けがの危険性があることから担当課に補修を依頼。少し時間がかかりましたが、無事に補修完了。安心して遊んでいただけるようになりました。

### 福祉総合窓口での支援の流れ

#### 相談例

祖父母の介護と乳児の育児に疲れている母(ダブルケア)

祖父母の世話で遊べない長男(ヤングケアラー)

介護が必要な祖父母

失業で収入がなくなった父

**ポイント1** 全ての福祉相談  
1カ所の窓口で相談ができます。

**ポイント2** 訪問による相談を強化します。相談者や家族が気付かない課題を発見し、支援します。

**ポイント3** チーム支援  
課題が複数の分野にまたがる場合は、専門職員や福祉関係機関等と連携し、チームで支援を行います。

### 各総合支所区民課 福祉総合窓口

(月～金曜:午前8時30分～午後5時)

#### 区職員

相談員

保健師

担当者

専門職員の配置により、専門性の高い相談が可能

#### 専門職員

高齢者  
相談センター職員

障害者  
基幹相談  
支援センター職員

**ポイント4**  
リモートで相談を  
サポートします

子ども家庭支援  
センター

港区在宅療養相談  
センター

港区社会福祉  
協議会

生活・就労支援  
センター 等



7月21日、開設に先駆けて、高輪地区総合支所に公明党議員団で視察に伺い、担当職員の皆さまにお話しを伺いました。



現在、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて、国や地方自治体、企業、教育・研究機関、NPO等、さまざまな主体により積極的な取り組みが展開されています。区においても、SDGsの目標を踏まえて区政を推進するとともに、SDGsの一層の普及促進に取り組んでいきます。